

ニュースリリース

平成19年1月17日

新日鉄エンジニアリング株式会社

酒泉鋼鉄より溶融亜鉛めっき2ラインを一括受注

新日鉄エンジニアリング株式会社(代表取締役社長 羽矢 惇)製鉄プラント事業部(事業部長 高橋 誠)は、三菱商事株式会社(代表取締役社長、小島 順彦)、富士電機システムズ株式会社(代表取締役社長、矢内 銀次郎)と共同で、中国酒泉鋼鉄(集團)有限責任公司(通称:酒泉鋼鉄)より、溶融亜鉛めっきライン(CGL)の全体エンジニアリングと主要機器を、2ライン一括で受注しました。

酒泉鋼鉄は、中国で需要が堅調である家電・高級建材用の亜鉛めっき鋼板を製造するために大型CGLの建設を決定し、2009年半ばより2ラインで年間75万トンの生産を見込んでおります。この商談には、欧州企業、中国企業が数社参加しましたが、当社の全世界31ラインのCGL納入実績に裏打ちされた技術力、中国で多くのプロジェクトを円滑に遂行した実績が評価され、2ライン一括での受注に至りました。

当社は、2002年に中国でCGLを初受注して以来、本件で4、5基目の受注となります。今後も引き続き中国を主要市場と位置づけ、製鉄プラントの拡販に注力していきます。

【参考：酒泉鋼鉄概要】

概要：中国西北部の鉄鋼最大手。前身は1959年設立の酒泉鋼鉄公司。鉄鉱山を保有する
国有一貫メーカーで、1997年10月に現在の酒泉鋼鉄となった。

所在地：甘肅省嘉峪関市(かんしゅくしょうかよくかんし)
(敦煌の東方300kmに位置するシルクロードのオアシス都市)

代表者：馬 鴻烈(マ ホンリー) 代表取締役会長

資本金：約36億中国元(約548億円)

生産量：粗鋼生産約570万トン('05年度、中国第16位)

[本件に関するお問い合わせ先]

新日鉄エンジニアリング株式会社
総務部広報室 03-3275-6030